

2024年8月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総額売上高）で開示しております。

〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
㈱ 高島屋 計	※1	+7.3	
㈱ 高島屋 および 国内百貨店子会社 計		+4.6	
㈱ 高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計	※2	+6.2	

〔店舗・事業部別 概況〕

		(前年比 単位:%)			
		売上高	入店客数	売上高	入店客数
大 阪 店		+5.8	+4.5	E C 店	+9.9 -
堺 店		+0.5	+2.4	㈱ 高島屋 各店 計	+2.7 +7.0
京 都 店	※3	+6.6	+27.7	岡 山 高 島 屋	△13.8 △4.0
泉 北 店		△1.0	+0.4	高 崎 高 島 屋	△17.1 △2.1
日 本 橋 店		+2.2	+11.5	㈱ 高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+0.2 +5.3
横 浜 店		△0.6	+4.7	㈱ 高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計	※2 +1.8 +6.6
新 宿 店		+10.0	+4.5	法 人 事 業	+88.4
玉 川 店		△8.2	+3.8	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	+7.5
大 宮 店		△16.8	+1.8		
柏 店	※4	△4.4	+3.9		

※1. ㈱高島屋の売上高は、㈱高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

※3. 京都店は「洛西店」の売上を含みます。また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+9.7%となります。

※4. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

		(前年比 単位:%)	
		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品		+4.6	+1.2
紳士服・洋品		+6.7	+8.7
婦人服・洋品		+5.3	+2.6
子供服・洋品		+0.9	△20.3
その他衣料品		△5.1	△7.5
身のまわり品		+9.4	+7.8
家庭用品		△17.8	△18.5
家具		△66.6	△63.7
家電		+15.5	+14.5
その他家庭用品		△5.8	△8.1
食料品		+3.0	+0.5
生鮮食品		△0.4	△2.8
菓 子		+4.8	+2.2
惣 菜		+2.7	+1.4
そ の 他		+3.3	△0.6
食堂・喫茶		△14.8	△15.5
雑貨		+1.7	△1.1
化粧品		+5.8	+3.7
美術・宝飾品・貴金属		△6.3	△9.9
そ の 他		+20.5	+18.3
サービス		△8.7	△9.1
その他		+239.4	+222.4
合 計		+7.3	+4.6

○百貨店売上高（※既存店対比）

	前年比	2019年比	2018年比
店頭売上高	+0.2% (※+1.8%)	△0.1% (※+5.3%)	+3.3% (※+9.3%)
免税売上高	+47.1% (※+47.1%)	+105.6% (※+106.0%)	+86.7% (※+87.7%)
免税を除いた店頭売上高	△5.4% (※△3.7%)	△8.7% (※△3.3%)	△4.5% (※+1.6%)

○法人事業は、受注が堅調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

クロスメディア事業は、衣料品、食料品を中心にカタログ受注が堅調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

○9月の店頭売上高（16日までの累計 ※既存店対比）は、前年比+12.3%、免税売上高は、前年比+22.8%、免税を除いた店頭売上高は、前年比+11.1%で推移しています。

※上記の数値は、第2四半期決算に伴う売上高修正を反映しております。（8月度はマイナス、9月度足元は同額プラスの売上高修正）

売上高修正を除く実質の前年比（※既存店対比）は以下のとおりです。

8月度：店頭売上高	+6.2%	免税を除いた店頭売上高	+1.5%
9月度：	“ +4.8%	“	+2.5%（16日までの累計）